



## 《 国産大豆 》

### 20年産5月も落札率低迷

平成20年産国産大豆の5月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数19,460.9トンで、落札が3,201.1トン、落札率が16.4%という結果となりました。

依然、市場の動きが鈍く、大豆問屋は、契約栽培大豆の手持ちもあるため、必要最小限の入札にとどまっているものと思われます。19年産と比較すると落札率、平均落札価格とも低くなりました。

(前年5月の落札率は44.1%、前年5月の平均落札価格より60kg/1010円安値)

また、4月と比較すると、落札率は、9.9ポイント低下し、平均価格は、60kg/150円安くなりました。しかしながら、銘柄によっては、前月よりも高くなったものもあり、主な品種では、青森大粒おおすず(60kg/192円高)、宮城大粒ミヤギシロメ(60kg/45円高)、山形中粒タチユタカ(60kg/71円高)などとなっております。

他の主な落札価格(普通大豆)は、北海道小粒スズマル10,110円/60kg、新潟大粒エンレイ6,736円/60kgとなっております。

今後も、必要なものだけを入札する傾向が続き、今のところ、価格の大幅な下落は無いものと思われます。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	831.6t	158.4t	19%
12月	4,642.4t	1,266.2t	27%
1月	5,729.2t	1,415.5t	25%
2月	14,430.8t	3,200.5t	22%
3月	16,924.2t	3,608.1t	21%
4月	17,716.8t	4,658.1t	26%
5月	19,460.9t	3,201.1t	16%
累計	79,735.9t	17,507.9t	22%

### 20年産特別栽培大豆のご案内

弊社が、20年産契約栽培大豆として、みどりの農協とすすめていた特別栽培大豆(減農薬減化学肥料)の タチナガハ が、いよいよ入荷となります。南郷地区では、農薬5割減、化学肥料7割減、田尻地区では、農薬5割減、化学肥料8割減で栽培されております。粒度、等級は、大粒2等級品中心となっております、品質も良好です。

宮城県産大豆で、さらに、ワンランク上のこだわり大豆をお求めのお客様は、この機会に、是非お試し下さい。お問い合わせは、弊社の営業担当者までお願いいたします。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



## 《 トピックス 》

### 石豆解除装置の開発発表

農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターは、5/22、石豆解除装置の開発を発表しました。

これは、中央農業総合研究センター農学博士の乙部和紀先生を中心として、加工機器メーカーの原田産業、大豆選別工場を持つ弊社が、共同で開発した成果であります。

この装置で、大豆の表面に適度な深さの細かい穴をあけることにより、大豆浸漬時の吸水を促進させることに成功しました。

今まで石豆に悩まされ続けてきた納豆メーカーにとって、大きな進歩となることでしょう。



弊社の片寄、浅利も出席してのプレスリリース



## 《 北米産大豆 》

### ‘08/09産大豆生産高減少

アメリカ農務省は、5/12に‘08/09年産の世界の大豆生産予想を2億1279万トンと発表し、前年比3%減産の見込みとなりました。これは、アルゼンチンで500万トンの大幅減産、中国で80万トン、パラグアイ、インドでも減産見通しとなったためです。

しかしながら、‘09/10年産は、2億4172万トンの生産予想となり（前年比14%の増産）、大幅な増産予想となりました。これは、今年、干ばつの影響を受けたアルゼンチン、ブラジルで増産が見込まれるほか、アメリカでの大豆作付増加が見込まれているからです。

### 大豆相場の展望

シカゴの大豆相場は、5/2に期近で、昨年9月以来の12ドルに達し、現在も、期近で11ドル後半から12ドルの間での動きとなっております。為替も96円前後で推移しております。

今後の動きは、現在、遅延している北米の農家の大豆作付面積が反映されるものと思われます。

## 《 中国産大豆 》

### ‘08産大豆の動向

中国政府は、‘08年産大豆の備蓄目標を725万トンにまで追加して買い付けを進めております。買い付け期限は6/末の予定で、5月末現在、約630万トンの買い付け状況です。買い付け価格は、生産者保護のため、国際相場よりも高めの価格が設定されており、国内価格は高値で推移しております。今後、備蓄大豆の放出タイミングが相場を左右するものと思われます。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>